



木
林

一

久

木
林

小
柳
亭
氏

平成19年11月30日

森一久様

先日はご親切をお心遣いも頂き誠に有難うございました。
申し遅れましたが、お送り頂きました資料確かに受信致しました。
「放医研の臨海実験場では一体どんなことをしているのか？」との質問
にお答えおつもりで書き出したものをあ届け致し、退任後
10年に近く、任地の変わるごとに資料と写真などを整理してしま
いで、手元に多く不揃の資料が多くありお事、何卒ご容赦下さい。
ご趣旨と取り違えていないのでは？と云う懸念が拭えませんか？
若し、そうでありましたら改めてご指示下さいお祈り申し上げます。
現在放医研那珂湊支所には海洋生物学の研究者の全く
おらず、実験施設も大半は休止状態にある様です。組織・施設
共に何時閉鎖されるもおおにまい状況と聞いております。
なお既にご承知の事かと存じますが、放医研の放射線防護
センター・シンポジウムが「放射線の環境影響を考える」というテーマで
12月17日(月)、18日(火)の両日、千葉の放医研で開催される。もし
ご興味ある場合は、ご案内申し上げ次第です。
最後にご心配頂きました家内の病気につきまして、年令相応に
極めて遅々とした歩みではありますが、一歩一歩快方に向っているかと
信じて日夜頑張っておりますと報告させて頂きます。

尚文典 小柳 卓